

第二回津軽凧揚げ大会開かれる

二百枚(畳二十枚)の大凧も初参加

藻川地区東側の水田で二月七日、第二回津軽凧揚げ「五所川原大会」が開かれ、

津軽一円から約二百人が参加しました。この日は、時折二十分近

い強風と地吹雪に見舞われる悪天候となりましたが、凧揚げには絶好の風とあつ



畳20枚ほどもある大凧に観衆もびっくり

て地区住民をはじめ約一千人が見物に訪れました。

同大会は、藻川凧の会と一野坪凧の会、金山凧の会が主催し、第十八回五所川原雪まつりの協賛行事として行われたものです。

競技は午前十時から始まり、Aクラス(団体西の内三十一枚以上)、Bクラス(高校・一般同十二枚以上三十枚)、Cクラス(同十一枚以下)、Dクラス(中学生以下で同十枚以下)に分かれて行われ、参加者の最高は西の内六十五枚という大凧も参加しました。

又、この日は岩木凧の会の西の内二百枚(畳二十枚ほど)のジャンボ凧がデモンストラーションで披露され、参加者と見物に訪れた人達は凧揚げのだいご味をたんのうしていました。



市 民 憲 章 (昭和59年10月1日制定)

昭和63年

No.658

3-1

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協働し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

文化奨励賞贈る 今年度から指導者賞を新設

昭和六十二年度の市スポーツ賞・文化奨励賞の表彰式を二月二十日、市中央公民館で行いました。

市スポーツ賞はスポーツ活動やスポーツの振興に、市文化奨励賞は文化活動に、それぞれ優れた成績をおさめられた個人や団体に対して市が贈るもので、表彰式には関係者約二百五十人が出席しました。

本年度のスポーツ賞は、スポーツの振興に功績のあった成田栄一さんと平川吉

道さんに功労賞が、本年度から新たに設けられた指導者賞は小野亮さん、下山匡さん、寺田昭郎さん、佐藤健郎さん、岩山政則さんに、また、全日本卓球選手権大会カブの女子シングル優勝の齋藤五月さんなど個人六十二人、二十三団体に贈られ、五回受賞が四個人、五団体、十回受賞が二個人、一団体となっています。

一方、文化奨励賞は、全日本おかあさんコーラス全国大会でグランプリを獲得

した五所川原女声コーラスなど個人二十七人、六団体にそれぞれ贈られました。表彰式では、個人一人ひとり

とりと団体に賞状と記念品を贈った後、阿部祥吾教育委員長が「今回の受賞を契機に、さらに研鑽を積み、市民としての名譽と自分のためになお一層のご活躍を心からお祈りします」とあいさつを述べました。

その後、市長代理の吉岡良三助役と、川浪重次郎市議会議長がそれぞれお祝い

の言葉を述べました。最後に、受賞者を代表して南小の小田桐章史さんが「すてきな賞をありがとうございます。これからも練習に励みます」とお礼の言葉を述べ、式を終わりました。

受賞者は次のとおりです。
(敬称略)

スポーツ賞

◆功労賞 成田栄一(銃剣道)、平川吉道(陸上)

◆指導者賞 小野亮(バレ

ーボール)、下山匡(五一中教員)、寺田昭郎(南小教員)、佐藤健郎(五商高教員)、岩

山政則(少林寺拳法)

★個人

◆卓球 江良和彦、三上都

(以上南小2)、齋藤五月(南

小4)、福田真智子、古川史

子(以上南小5)、神健介(

みなみ卓球スポーツ少年団

、横山幸子、青山佐織、櫛

引英嗣(以上五一中3)、杉

山洋子(五三中2)、堀内美

和(東奥女高1)、櫛引理恵

(同高2)、境谷恭子(同高

3)

◆陸上 森紀彦、中野秀樹

(以上五一中1)、須藤広美

一戸美乃(以上五一中3)、

小野忍(五四中1)、今佳織

(五商高1)、阿部珠美(木

造高2)、藤田直樹(五農高

2)、工藤柁輝(同高3)、井

上孝久(五工商3)、佐藤寛

保、安田信昭(陸上競技協

会)

◆柔道 一戸晃樹(柔道少

年団)、川浪泰子(五農高1)、

成田琢也(同高3)、一戸建

智(五商高3)、成田光(八

戸高専4)、齋藤信幸、対馬

智、平川真吾、太田満(以

上市青協)

◆少林寺拳法 高松佳孝(

五一中1)、富士淳(五二中

1)、中川真、佐藤武(以上



市スポーツ賞・文化奨励賞表彰式

1日1円でご家族の安心を
交通災害共済に
家族そろって加入しましょう。

※詳しいことは、市役所市民課(交通防犯対策室) ☎ 352111番 内線280番へ



市スポーツ賞

市スポーツ賞

成田信昭さん、葛西二三彦さん、五農高柔道部が10回受賞

- 五工高2)、桜庭直美、木村兼幸、原芳久、福井勇、工藤由香(以上五一高2)、米谷修一、鳴海理香、川瀬由美子、神孝子、木村美雪(同高3)、棟方昭二、櫛引和雄(以上少林寺拳法協会)
- ◆相撲 江良慈彦(五四中3)、成田琢也(五農高2)、葛西二三彦(五農高教員)、葛西孝彦(五農高教員)、太田久光、山中啓三、松居司(以上市青協)
- ◆銃剣道 白取暁(銃剣道協会)
- ◆空手 鶴谷綾子(五高3)
- ◆レスリング 石岡宏康(光星学院高3)、小坂明(日大2)
- ◆射撃 小田切秀道(獵友会五所川原支部)
- ◆五回受賞 堀内美和、櫛引理恵、境谷恭子(以上卓球)、成田光(柔道)
- ◆十回受賞 安田信昭(陸上競技)、葛西二三彦(相撲)
- ★団体
 - ◆卓球 南小男子卓球部、同女子卓球部、みなみ卓球スポーツ少年団、五一中男子卓球部、同女子卓球部、五三中女子卓球部
 - ◆陸上 五一中男子陸上部、

- 同女子陸上部
- ◆柔道 五所川原柔道スポーツ少年団、五所川原柔道少年団、五農高柔道部、五農高女子柔道部、五所川原柔道会、市青年団協議会
- ◆野球 栄小野球部、五一中野球部、五東高軟式野球部
- ◆少林寺拳法 五工高少林寺拳法部、五一高男子少林寺拳法部、同女子少林寺拳法部
- ◆ソフトボール 五農高ソフトボール部
- ◆バレーボール 蒼空クラブ
- ◆相撲 五農高相撲部
- ◆五回受賞 みなみ卓球スポーツ少年団、五一中女子卓球部、五工高少林寺拳法部、五農高女子ソフトボール部
- ◆十回受賞 五農高柔道部

文化奨励賞

- ★個人
 - ◆書道 佐々木千恵(松野木小3)、寺田康行(五一中2)、中川美雪(五農高3)、若林芳子、横嶋美由起(以上五庚会)、太田聡美(松島小1)、工藤真理子(五二中2)、片岡節子(同中3)、
 - 長尾千穂子(同中2)、中川潤一(五農高1)、片岡和人(同高3)、佐々木八重子(五二中1)、野呂勝美(幾世森)
 - ◆珠算 小野生子(木造高2)
 - ◆ボスター 小笠原大樹(田川小2)
 - ◆図画 渋谷昌洋、小笠原朱海、神里美(以上田川小5)、鎌田美砂子(第一さつき保育園)
 - ◆作文 山田安希子(南小3)
 - ◆詩 古川美紀子(南小3)
 - ◆俳句 川浪善嗣、川浪麻里(以上藻川小6)、成田市子(五所川原俳句会)
 - ◆版画 坂本一真(五小6)
 - ◆感想文 藤丸勝美(八重菊)
 - ◆標語 藤丸ツエ(八重菊)
- ★団体
 - ◆合唱 五所川原小合唱部、五所川原合唱団、五所川原女声コーラス
 - ◆吹奏楽 五所川原吹奏楽団
 - ◆図画 第一さつき保育園
 - ◆作文 南小学校
 - ◆五回受賞 中川美雪(五農高)、中川潤一(五農高)

新入隊する若者達を激励

— 西北五地区自衛隊官連絡協 —



森田会長に誓いのことばを述べる小田桐剛さん(左)

その後、先輩隊員として陸自第九偵察隊一等陸士の成田正さんが歓迎のことばを、また入隊予定者を代表して五所川原農林高校の小田桐剛さんが「今日のこの感激を忘れることなく、一生懸命努力します」と力強く誓いのことばを述べました。

西北五地区自衛隊官連絡協議会(会長・森田市長)では二月十九日、市中央公民館で「西北五地区自衛隊新入隊予定者激励会」を新入隊予定者をはじめ父母、協力会などの関係者約三百人が出席して開かれました。

同激励会は、この春西北五の高校を卒業して自衛隊に入隊する若者達(女子二人を含む八十五人)を励ますために開かれたものです。

激励会ではまず、会長である森田市長が「国を守る

引き続き、入隊予定者の紹介と記念品贈呈の後、菊池武正自衛隊協力会県連合会長と春藤浅七自衛隊父兄会県支部連合会副会長が激励とお祝いのことばを述べました。

雪上綱引きなどに歓声!

第18回 五所川原雪まつり

家族づれでにぎわう



開会式であいさつを述べる森田市長



「ワッショイ、ワッショイ」
力が入る綱引き



「エイッ」良く回ってくれよ!



「ハイッ、ありました」

恒例の「五所川原雪まつり」が二月十一・十四の両日、市民文化会館と市庁舎前お祭り広場を会場に開かれ、親子づれなど約七千人でにぎわいました。

この雪まつりは、市観光協会(三上理会長)が主催し、市、市教委など二十二団体の後援で開催しているもので、今年で十八回目になります。

初日の開会式では、三上会長のあいさつに引き続き、名誉大会長である森田市長が「この雪まつりを契機に、雪を克服、雪に親しみ、親子のふれあいをさらに深めてください」とあいさつを述べました。

その後、歌謡・津軽民謡・津軽民謡手踊りの各コンクールが行われ、西北五から約百人が出場し満員の観客を楽しませました。

また十四日は、時折吹雪もようとなる天候の中、お祭り広場で「ズグリ回し」、「雪上親子綱引き」、「雪上カルタ」が行われました。

今回はズグリ回しに二十二人チーム、綱引きに十二人チーム、雪上カルタに二十六人チームが参加し、観衆から盛んな声援を受けながら健闘していました。

さらに、まつり期間中お祭り広場には、大型のスベリ台が設けられ子ども達の人気を集めました。

津軽民謡の部

- ◆歌謡の部 ①山川光徳(新宮町)、②秋田厚子(幾世森)
- ◆歌謡・津軽民謡・津軽民謡手踊り

- ◆雪上親子綱引き ①飯詰子ども会 ②野里子ども会 ③若葉県営子ども会 金山子ども会
- ◆雪上カルタ ①田園町子ども会A ②川端町子ども会B ③野里子ども会A、第二千鳥町子ども会
- ◆ズグリ回し ①飯詰子ども会B ②金山子ども会A ③田町栄町子ども会B、湊子ども会A

- ◆津軽凧揚げ大会
- Aクラス ①津軽凧の会(市浦村)、②豊田凧の会(木造町) 川除凧の会(同)
- Bクラス ①清藤良男(青森市)、②久々清(鶴田町)、三浦修(鶴ヶ岡)
- Cクラス ①工藤末三郎(鶴田町)、②小山内ちよ(漆川)

- ◆津軽民謡手踊り(少年個人)の部 ①成田純子(木造町)、②山口祐恵子(同)
- ◆同(一般個人の部) ①工藤直美(木造町)、②芹川弘枝(同)
- ◆同(一般団体の部) ①芹川弘枝外六名(鯉ヶ沢町)、②三和さち外六名(市浦村)

- ◆津軽民謡手踊り(少年個人)の部 ①成田純子(木造町)、②山口祐恵子(同)
- ◆同(一般個人の部) ①工藤直美(木造町)、②芹川弘枝(同)
- ◆同(一般団体の部) ①芹川弘枝外六名(鯉ヶ沢町)、②三和さち外六名(市浦村)

- ◆津軽凧揚げ大会
- Aクラス ①津軽凧の会(市浦村)、②豊田凧の会(木造町) 川除凧の会(同)
- Bクラス ①清藤良男(青森市)、②久々清(鶴田町)、三浦修(鶴ヶ岡)
- Cクラス ①工藤末三郎(鶴田町)、②小山内ちよ(漆川)

- ◆津軽民謡手踊り(少年個人)の部 ①成田純子(木造町)、②山口祐恵子(同)
- ◆同(一般個人の部) ①工藤直美(木造町)、②芹川弘枝(同)
- ◆同(一般団体の部) ①芹川弘枝外六名(鯉ヶ沢町)、②三和さち外六名(市浦村)

- ◆津軽民謡手踊り(少年個人)の部 ①成田純子(木造町)、②山口祐恵子(同)
- ◆同(一般個人の部) ①工藤直美(木造町)、②芹川弘枝(同)
- ◆同(一般団体の部) ①芹川弘枝外六名(鯉ヶ沢町)、②三和さち外六名(市浦村)



二月十四日には、まつり協賛行事として(株)中三五所川原イベント開発委員会でまつり参加者に対し、凧と豚汁のプレゼントがありました。大変ありがとうございました。

- ◆Dクラス ①高橋慎吾(藻川)、②小笠原浩(浪岡町)、小笠原美夏(同)
- 一野坪、②小笠原武文(浪岡町)、秋元治平(二野坪)

住みよいふるさと「栄」をめざして

栄地区住民協議会 創立十周年を祝う コミュニティセンター

コミュニティセンター

二月十一日、「栄地区住民協議会・コミュニティセンター」創立十周年記念式典が地区住民約百十人が出席して開かれました。

式典ではまず毛内務地区住民協議会長が「創立十周年を契機として、コミュニティ作りの交流の輪を広げ、住みよいふるさとを目指し、二十一世紀に向かってさらに、躍進していきたい」と辞を述べました。

続いて来賓として市長代

理の吉岡助役が「創立十周年まことにおめでとう。今後、皆さま方には他地区の模範として、明るく心ふれあうまちづくりがますます推進されることを期待します」と祝辞を述べました。

「コミュニティセンター」は昭和五十四年二月に開設、同時に町内会やPTA、子ども会、老人クラブなどの代表が理事と委員になり住民協議会が結成され

ました。

住民協議会はこの十年間に、地区ぐるみの盆踊り大会や、グランドゴルフ、ソフボール大会を開催するなど活発な活動を続けており、生花や油絵、英会話、ダンスなど計十二の教室、愛好会が誕生しています。

この日は式典終了後、「今の社会はこれでもいいのか」と題した石崎宜雄青森大学社会学部長の記念講演が開かれました。

講演する石崎宜雄教授



同協議会は、昭和六十年九月に日ごろのコミュニティ活動が認められ、自治省コミュニティ推進モデル地区に指定されるなど、同地区は住みよいふるさと「栄」を目指して着実に前進しており、式典に出席した人達も喜びにあふれていました。



消防団員らが雪おろし奉仕



一人暮らし老人宅の屋根雪下ろし奉仕をする消防団員達

五所川原消防署と市消防団(加藤兼頭団長)では二月十八日、雪下ろしができずに困っている市内の一人暮らし老人家庭の屋根雪下ろし奉仕を行いました。これは、去る十二日に市豪雪対策本部が設置された

教育振興会に5万円

国際ソロプチミスト

世界の平和と奉仕のため活動を行っている国際ソロプチミスト五所川原(菊地せつ子会長)では二月九日、市教育振興会に五万円を寄付しました。

この日は、同クラブの和島雪乃歳入委員長と蒔田恵智子さんが教育委員会を訪れ、高橋教育長に目録を手渡しました。



高橋教育長(右)に手渡す和島委員長(中央)と蒔田さん(左)

地区別更新場所及び日程

対象地区	月日	曜	時 間	更新場所
毘沙門地区	3月24日	木	午前9時～午前12時	毘沙門支所
梅沢地区	3月24日	木	午前9時～午前12時	梅沢支所
三好地区	3月24日	木	午後1時～午後4時	三好支所
七和地区	3月24日	木	午後1時～午後4時	七和支所
飯詰地区	3月25日	金	午前9時～午前12時	飯詰支所
長橋地区	3月25日	金	午後1時～午後4時	長橋支所
松島地区	3月25日	金	午前9時～午前12時	市役所 2階ロビー
栄地区 (みどり町含む)	3月25日	金	午後1時～午後4時	市役所 2階ロビー
中川地区	3月26日	土	午前9時～午前12時	市役所 2階ロビー
栄町、田町、蓮沼、 元町、不魚住、鎌谷 町、烏森、下り枝、 八重菊、一ツ谷、新 町、柳町、岩木町、 川端町	3月28日	月	午前9時～午後4時	市役所 2階ロビー
本町、布屋町、弥生 町、東町、大町、旭 町、敷島町、雛田、 上平井町、中平井町、 下平井町、幾世森	3月29日	火	午前9時～午後4時	市役所 2階ロビー
寺町、柏原町、錦町、 幾島町、末広町、新 宮町、芭蕉、小曲、 松島町、新宮、長橋 橋元、湊団地、若葉	3月30日	水	午前9時～午後4時	市役所 2階ロビー
期日に更新できな かった人 (各支所を除く地域)	3月31日	木	午前9時～午後4時	市役所 2階ロビー
期日に更新できな かった人 (各支所分)	3月26日～ 4月28日			各支所
	5月2日以降			市役所 保険年金課

被保険者証を更新します！必ずお忘れなく

皆さんが現在持つておられる国民健康保険被保険者証及び国民健康保険退職被保険者証は、三月三十一日で有効期限がきます。日程表にもついて更新しますので、必ずされるようお願いいたします。

新しい被保険者証に更新したら、まず内容を確かめて

新しい被保険者証は、四月一日から有効となっておりますが、三月中に更新します。お医者さんにかかるときは新しい被保険者証を

窓口提示してください。また、継続して治療を受けている方も、新しい被保険者証を早速病院等の窓口提示してください。国保についてのお問い合わせは市保険年金課(☎2111番内線二六三番)へ。

「ご飯もうひと口運動」にご協力を！

主食である米の消費量は、年々減少傾向にあり、現在の一人当たり年間消費量は約75kg(一日当たり茶わん約4杯分)となっています。

今、米は消費の減少などによって生産過剰が心配されることから、63年度から新たに生産調整のための緊急対策が実施されることになりました。

この対策は、米30万トン分を転作などによって減少させるというものですが、その量を国民一人が一日に食べる量に換算すると約10g(ひと口)に相当します。

わが国の稲作の安定と食糧制度を守っていく上で、どうしても需給バランスを回復させることが必要であり、このため、みんなでもうひと口程度多く食べてもらうことが重要なことです。

ご飯もうひと口運動にご協力をお願いします。

一五所川原市水田農業確立対策協議会一

シルバー人材センター 会員募集

シルバー人材センターは、高齢者の就業ニーズ等に対応するため、就業機会のあっせん等、様々な角度から皆さんのお手伝いをする機関です。

現在、本年4月の設立に向けて会員を募集しています。

▷入会資格 60歳以上で、健康かつ勤労意欲のある人。

※事業主の皆さんへ

高齢者でもできる仕事がありましたら、どのような仕事でもかまいませんのでご連絡ください。

▷連絡・お問い合わせ先

市シルバー人材センター設立準備委員会(市商工観光課内 ☎ ☎ 2111 番内線 260 番)

"出会いをもとめて" 第2回青年のフェスティバル

第1回・第2回県青年の船に参加した若者達がエネルギーを結集し、『出会いをもとめて』をテーマにフェスティバルを開きます。

西北五の多くの若者達の参加を待っています。

▷日時 3月20日(日)午後2時30分～6時

▷場所 市中央公民館

▷内容 交流会、サークルの発表、講話、青年の船のPR、アンケート調査、質疑応答

※詳しいことは、木村智明さん(市内石岡字藤巻21-19 ☎ ☎ 4703 番)へお問い合わせください。

主催 県青年の船の会五所川原市フェスティバル実行委員会(21クラブ)

スキー大会 参加者募集 —市スキー協会—

◎第30回市民スキー大会

▷日時 3月6日(日)午前9時～

▷場所 神山スキー場

▷申込締切 3月3日正午まで

◎第6回西北五ジャイアント・スラローム大会

▷日時 3月13日(日)午前9時～

▷場所 神山スキー場

▷申込締切 3月6日正午まで

※お申し込みや詳しいことは、大会事務局(市内布屋町55・西北スポーツ内 ☎ ☎ 7845 番)へどうぞ。

農業者年金現況届の 提出を忘れずに

現在、農業者年金の経営移譲年金及び老齢年金を受給している人は、3月31日までに現況届を提出しましょう。

▷用紙の送付—毎年2月農業者年金基金から直接本人あてに送られています。

▷証明・確認—現況届には、受給者の印のほか市長の印と農業委員長印が必要です。市役所の市民課(住民登録が支所にある場合は支所)で、必ず先に生存証明を受けてから、農業委員会で確認を受けてください。

[注]証明及び確認は、3月1日以降に受けてください。

▷提出期限—現況届の提出期限は3月31日ですが、それまでに提出されないで年金の支払いが一時差し止められますので、ご注意ください(年金をはじめて受けられるようになってから、1年を過ぎていない人は提出する必要はありません)。

※詳しいことは、農協又は市農業委員会事務局(☎ ☎ 2111 番内線 229・230 番)へお問い合わせください。

長期婦人電気講座受講生募集 —東北電力五所川原営業所—

▷対象 主婦を中心とした婦人層

▷期間 4月から12月(8月を除き毎月1回)

▷会場及び時間 東北電力(株)五所川原営業所。午前10時から正午まで

▷募集人員 30名程度

▷受講料 無料

▷講習内容 4月—開講式、5月—講習(電気の基本知識)、6月—実習、7月—料理実習、9月—施設見学会、10月—実習、11月—料理実習、12月—閉講式

▷申込締切 3月31日

▷申し込み先 電話で東北電力(株)五所川原営業所・営業課サービス係(☎ ☎ 2151 番内線 334 番)へお申し込みください。

患者さんの作品を展示

—西北中央病院—

西北中央病院精神科では、患者さんの作業療法の作品展を開催します。

多数のおいでをお待ちしています。

▷日時 3月17・18日午前10時～午後6時

▷場所 市働く婦人の家

▷展示品 陶器、松かさ細工、手芸、書道、卵モザイクほか

「愛の献血」お願いします

ただいま県内では輸血用の血液が大変不足し、大ピンチです。手術等で多量に輸血を必要としている方々へ市民の皆さん、愛の献血をお願いします。

期 日	時 間	場 所
3月1日 (火)	午前10時から 午前11時15分まで	毘沙門・長富コミュニティセンター
	正午から 午後1時まで	山口メリヤス工場
3月17日 (木)	午後1時30分から 午後4時まで	東北電工 五所川原営業所
	午前10時から 正午まで	市役所お祭り広場
3月29日 (火)	午後1時から 午後4時まで	マルトモ デパート駐車場
	午前10時から 正午まで	コミュニティ センター中川
	午後1時から 午後4時まで	県合同庁舎

みんなの健康教室

- ▷ 日 時 3月25日(金) 午後1時
- ▷ 場 所 保健センター
- ▷ 講 師 齋藤 春雄先生
(齋藤産婦人科医院長)
- ▷ テーマ 「婦人の腰痛について」
- 主 催 北五医師会・市民保健協議会
- みんなの健康教室テレフォンサービス実施中
- ☎350311番

休日・夜間の急病は

在宅医師の照会は消防署へ

☎34-4999番

(救急医療部会)

短

歌

津軽アスナロ五所川原支部

京都嵯峨の駅に下り立ち静まれる午後の嵐山

あかず見つむる

足もとの凍てつく路に柏葉の舞いはくはくはく

野づらに去りぬ 三上きよみ

妻入院一人暮らしの我はただ途方にくれて日

を過ごしおる 蝦名卯之吉

遠慮せず折ればよかった藪甘草土手に咲いて

たあの花一輪 楠美チヨ

日記帖に一月の行事書きゆきて新しき年の感

触うべなう 青山栄治

のんびりと浮かぶ軽鴨に石投げて今日も目玉

の大き児のいる 堀内きみ子

児童手当改正の おしらせ

昭和63年4月1日からは義務教育就学前の児童を含む18歳未満の児童を2人以上養育している人で収入が一定の額未満の場合に2番目の児童から支給されます。

なお、自分のお子さんでなくても、その児童を監護し、一定の生計関係があれば受給できる場合があります。

また、義務教育就学前の児童には、やむを得ない事由のため就学困難と認められ、現に就学していない児童が含まれます。

▷ 受給資格者

昭和57年4月2日以後に生まれた児童(4月1日現在で満6歳未満)を含む18歳未満の児童を2人以上養育していること。

▷ 支給額

児童手当の額は、2人目の子どもについては、月額2,500円、3人目以降の子どもについては、1人につき月額5,000円が支給されます。

現在申請書を受付中です。

申請書を提出されないと受給することができません。

実際の支払いは6月からになります。

なお、公務員については、事業所からの支払いになりますので届出は不要です。

▷ 申請の際に必要なもの

- (1) 保険証
- (2) 銀行の口座番号
- (3) 印鑑
- (4) 児童手当用所得証明書(税務課から)

ただし本年1月1日以降に転入の方は前住所地から。

詳しいことは市民課(☎352111番内線276番)へどうぞ。

住所の変更は 14日以内に手続きを!

市内で住所が変わった人は、14日以内に印鑑、国民健康保険証を持参して、市民課窓口で手続きをしてください。

※詳しいことは、市民課記録係(☎352111番内線278番)へどうぞ。

